

財務会計論B		講義	教授 安藤 鋭也	
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 選択必修科目、経営・経済 コースの専門選択科目、教 職科目	科目ナンバリング	23012202 25320202	

1. 授業のねらい・概要

会計は、企業外部の利害関係者（例えば株主や銀行）への報告を目的とする財務会計と、企業内部のマネジメント層（例えば社長やCFO）が経営に役立てることを目的とする管理会計に分類されます。この授業では財務会計に関して、（財務会計の）基本的な考え方を主に理論面から、出来るだけ分かりやすく丁寧に説明します。

後期の財務会計論Bでは、第7章資本金会計～第12章財務諸表の分析を取り上げます。第1章総論～第6章負債会計は、前期の財務会計論Aで取り上げます。

受講にあたっては、「会計学基礎」「会計学総論」の履修、またはそれに準ずる基礎知識を有していることが望ましいです。

2. 授業の進め方

テキストの内容に沿った講義形式を基本とします。同時に、新聞・雑誌などから具体的な事象を取り上げて説明します。いずれにおいても、皆さんの積極的な参加を心から歓迎します。

3. 授業計画

1. ガイダンス、第7章 資本金会計 (1)意義、分類	9. 第10章 連結財務諸表 (1)意義、目的
2. 第7章 資本金会計 (2)株主資本	10. 第10章 連結財務諸表 (2)連結BS
3. 第7章 資本金会計 (3)株主資本以外	11. 第10章 連結財務諸表 (3)連結PL
4. 第8章 損益会計 (1)意義、分類	12. 第11章 企業結合と事業分離
5. 第8章 損益会計 (2)諸原則	13. 第12章 財務諸表の分析 (1)意義、目的
6. 第9章 財務諸表の作成 (1)意義、分類	14. 第12章 財務諸表の分析 (2)安全性、収益性
7. 第9章 財務諸表の作成 (2)BS、PL	15. まとめ
8. 第9章 財務諸表の作成 (3)CF、株主資本等変動計算書	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回テキストの該当箇所を事前に読んできて下さい（30分程度）。また学修内容の定着には復習が不可欠です。前回の授業内容は、配布資料も使って理解に努めて下さい（1時間程度）。もし不明な点や疑問点があれば、メールや次回の授業で遠慮なく質問して下さい。一緒に解決しましょう。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際は、解答のポイントや出題意図を（試験）終了直後に説明します。

6. 授業における学修の到達目標

財務会計の基本的な考え方を理解した上で、現行のわが国の企業会計制度の概要を把握することが目標です。

7. 成績評価の方法・基準

平常点 50%（授業への取り組み姿勢など） および期末テストの結果 50%の割合で成績評価を行います。

8. テキスト・参考文献

テキストは、新井清光・川村義則（2020）『新版 現代会計学（第3版）』中央経済社を使用します。本テキストは改訂される可能性があります。授業では最新版を使用します。参考文献は適宜紹介します。

9. 受講上の留意事項

受講にあたっては、会計や簿記の基礎知識を有している方が望ましいです。とはいえ必要不可欠ではありません。財務会計を理解してもらえよう、出来るだけ分かりやすく丁寧に説明します。

ただ授業は積み上げ、内容的にはAとBでワンセットです。したがって通年で毎回出席されることをお勧めします。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本授業は、商社（経理部門）における実務経験も活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおりです。